



13
3222
1





鳥居
木下
山

3222
1

昭和十一年
七月三日
購求

景野

遠山眉黛翠
翠年微連皓
齒朱唇素色鮮
汗溫紅
粧素帶露雲
髮綠梳
柳拖烟恍如
乞旦飛瓊
侶疑是塔
寺滴露
仙

景野

歩 拽 髮 翹 金 鳳 舞 何
殊 風 拂 一 枝 蓮

文政寅之至日

涼 儂 二 史 録



小野のこの小町こまちがあときらめく定るるはせとうへらさま々々
玉造たまぞうといふ目にこえる目で此の文清行ぐのひりといふ説れ
ぞも高野たかの大師だいしの御作ごさくの目録もくふしりり大師だいしの美和みわの始めふ
くまとりの小町こまちのさらりるる後ののりるる尚おもろうう
は下つまぐ草ふりるる京山按あらふ小町ハ仁明にんめい文文徳ぶんとくの比と
盛さかふ経々遍照へんしやう業業平へいるるのか謂いととかいせとの小町こまち家家集しゆ
古今ここん後ご集しゆ伊い勢せ物もの語ご大だい和わ物もの語ごあとふこえるあらりく
の歌ハ無名むな抄せうふこえる雨あめのうえ小町こまちが家集しゆのこえる
枚まい手て在あ京きやう々好色しきるるのか袖そで中ちゆう抄せうのりるる小町の長史し
女め見みるるのか御ご抄せうの名丹に親おんあら古今ここんの序ハ衣通つう姫ひめのか
あらりとほらいら目でも格支か抄せうハ出羽で女めの化ハあらりるる鏡かがみ目め本ほん記き

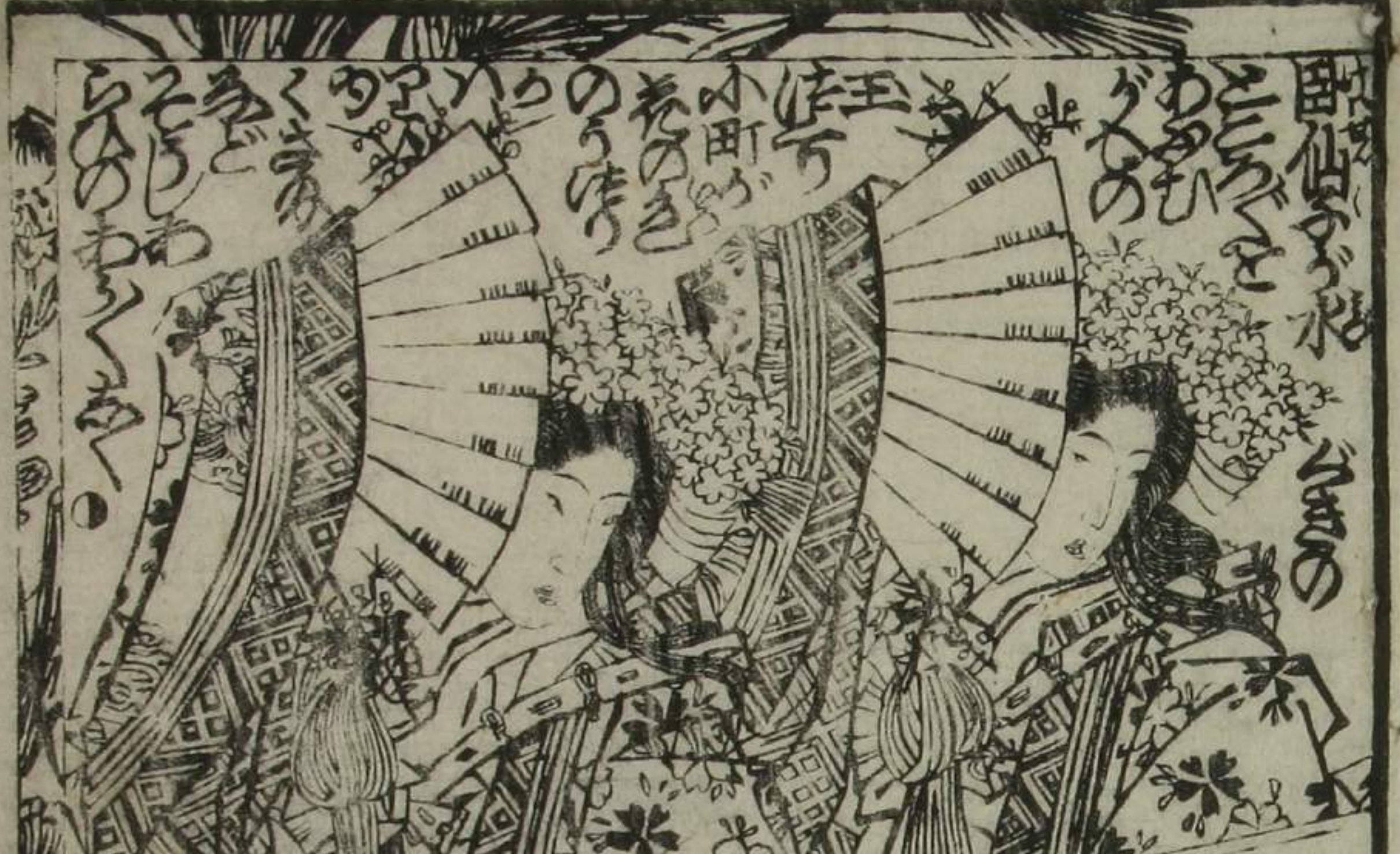
京 大

延喜式文徳實録作者
 部類より多しむのて本
 傳いざるるびむるくの下
 の句をつげし童蒙抄を辨
 子みたる人なる誰ぞもさる
 こゝと業平も実方共
 のひの皇都とあるを
 うろほたり人むるむらび世ふ
 小所を元しとて小所が家
 集の遠哥まき言ふるは
 花もなかりのあじの樹の陰
 草茂し小所が元とまき
 せと錦森堂の雲ふよとく



秋風
 錦森の
 ありふ
 百夜
 寺の
 どの
 を
 根
 たる

在原の業平



無名抄
 秋風の
 小所
 つげ
 あま
 をの
 業平



秋風
 錦森の
 ありふ
 百夜
 寺の
 どの
 を
 根
 たる
 小野の
 玉
 小所

原

腕稿同秋上梓
新版
山東庵京山誌



○坂上田村丸
家来
○五大三郎
武虎



○みどり
すそ
えき
乃奇ふ
秋せいの
はる
松ぞこひーき

袖中
風土
元小

此界
後小
五造小所



麻風太郎
武熊

山田の眼疾
太郎

山田の眼疾
太郎



小町の集
善和堂

善和堂
五道小町

家集

日のついでに
あけびのついで
うらまきとまはせ
あま

千とろろの林も
みずとろろ
さきだ

天のま川の
ひともあひ又

小野小町

若より十八丁
せんでらるる

深州乃
少将
善徳



七小町之図

家集
あけび
うらまき
あま

うらまきとまはせ
あま
うらまきとまはせ
あま

あけび

あけびのついでに
あけびのついで
うらまきとまはせ
あま
あけびのついでに
あけびのついで
うらまきとまはせ
あま
あけびのついでに
あけびのついで
うらまきとまはせ
あま



つぎ二田ゆきなる
のまごの子ゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる



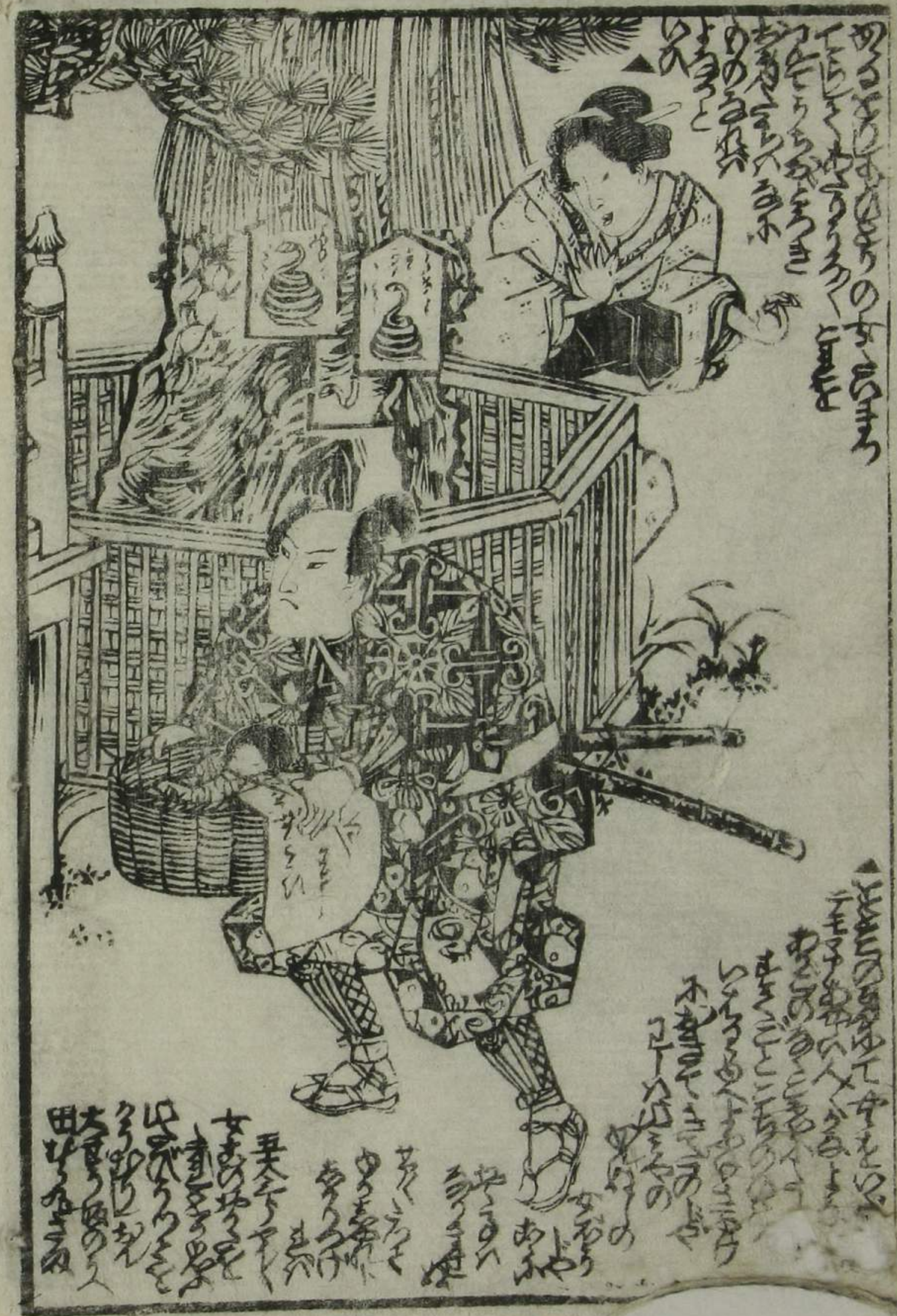
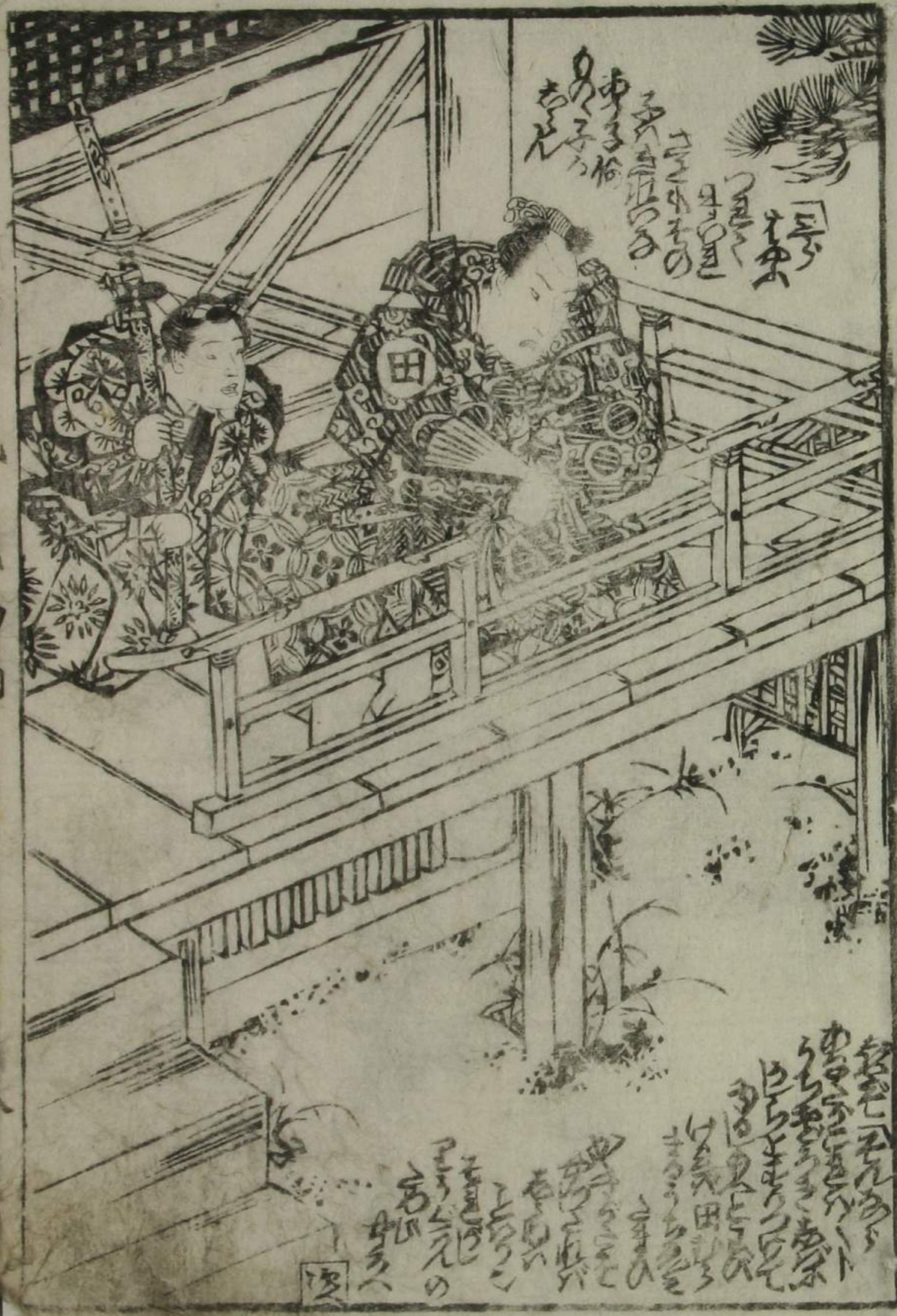
江戸

おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる



おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる
おのまごのゆきなる

原





はまのりこのまか
 まのりの
 けずあて
 ひろこのまのり
 十とせいで用ひらるる
 申るはまのりまのり

よみせいのり

つたふ
 ちんちん
 まんま
 けずあて
 ひろこのまのり
 十とせいで用ひらるる
 申るはまのりまのり

流
 白
 流
 白

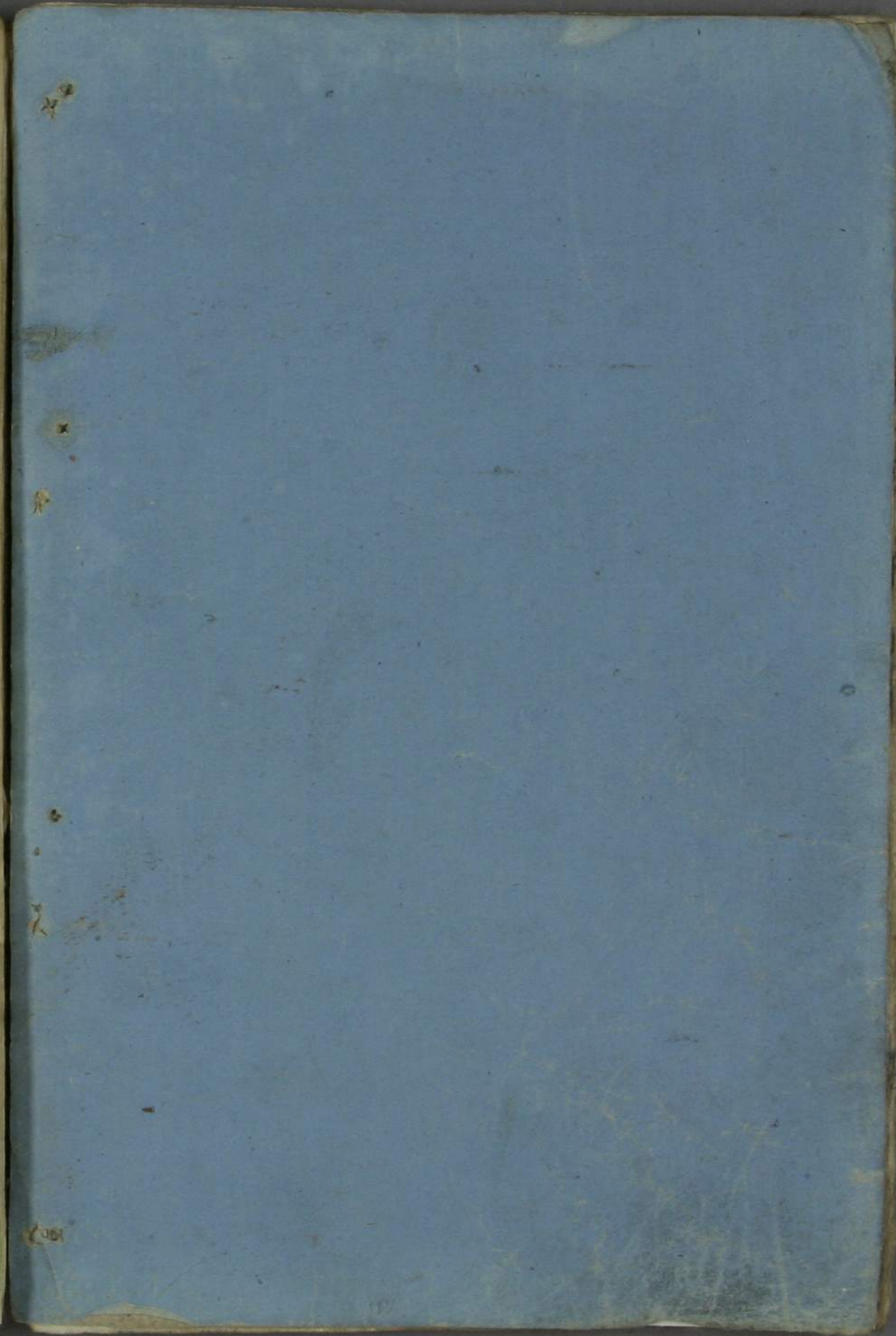


小野の源氏會
小野の源氏會

國貞画



下





さうして田舎の主人
 の心算はさう
 さうして田舎の主人
 の心算はさう

さうして
 田舎の主人
 の心算はさう

さうして田舎の主人
 の心算はさう



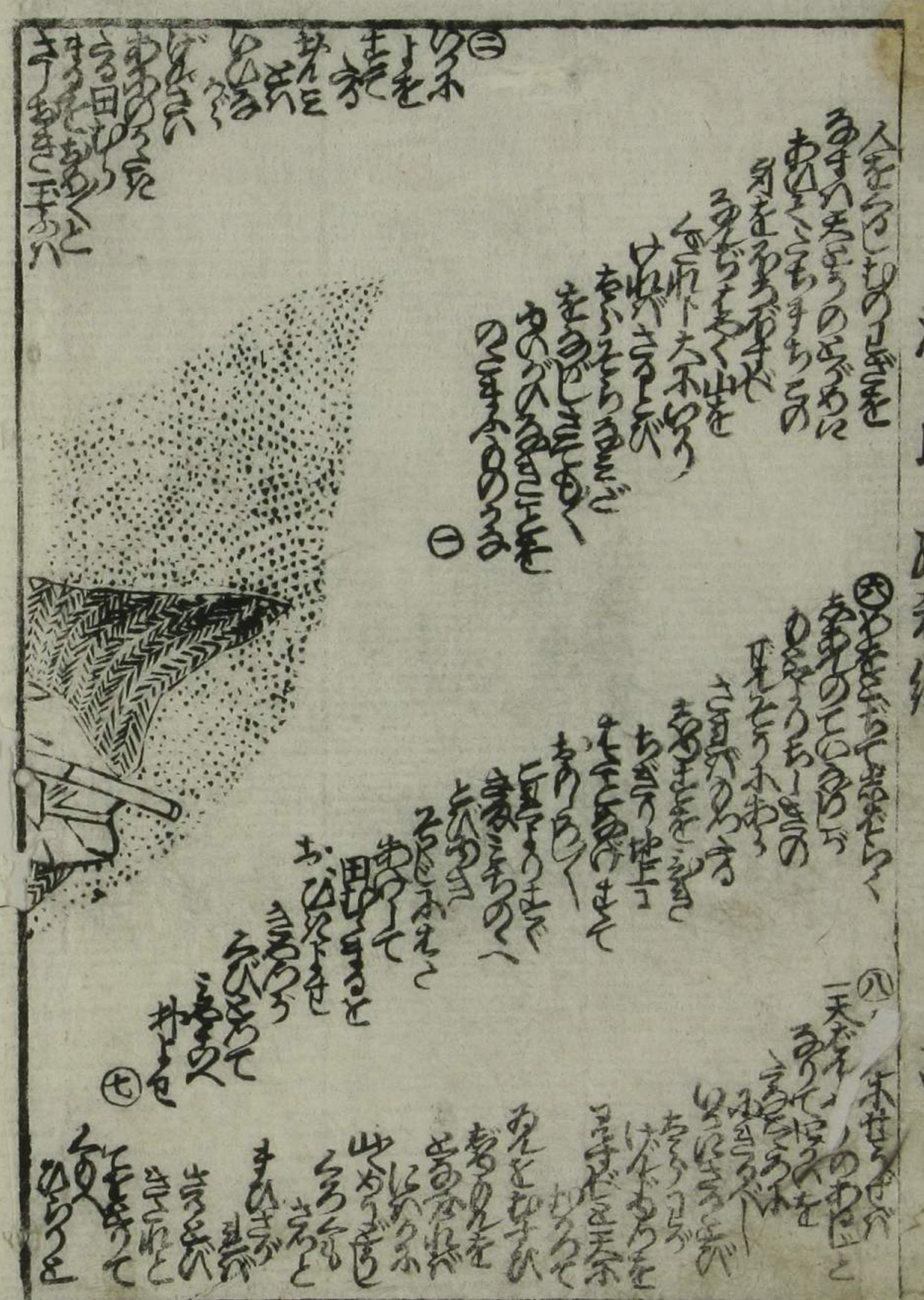
さうして田舎の主人
 の心算はさう
 さうして田舎の主人
 の心算はさう

さうして田舎の主人
 の心算はさう
 さうして田舎の主人
 の心算はさう



さうして田舎の主人
 の心算はさう
 さうして田舎の主人
 の心算はさう





① ② ③ ④ ⑤
 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

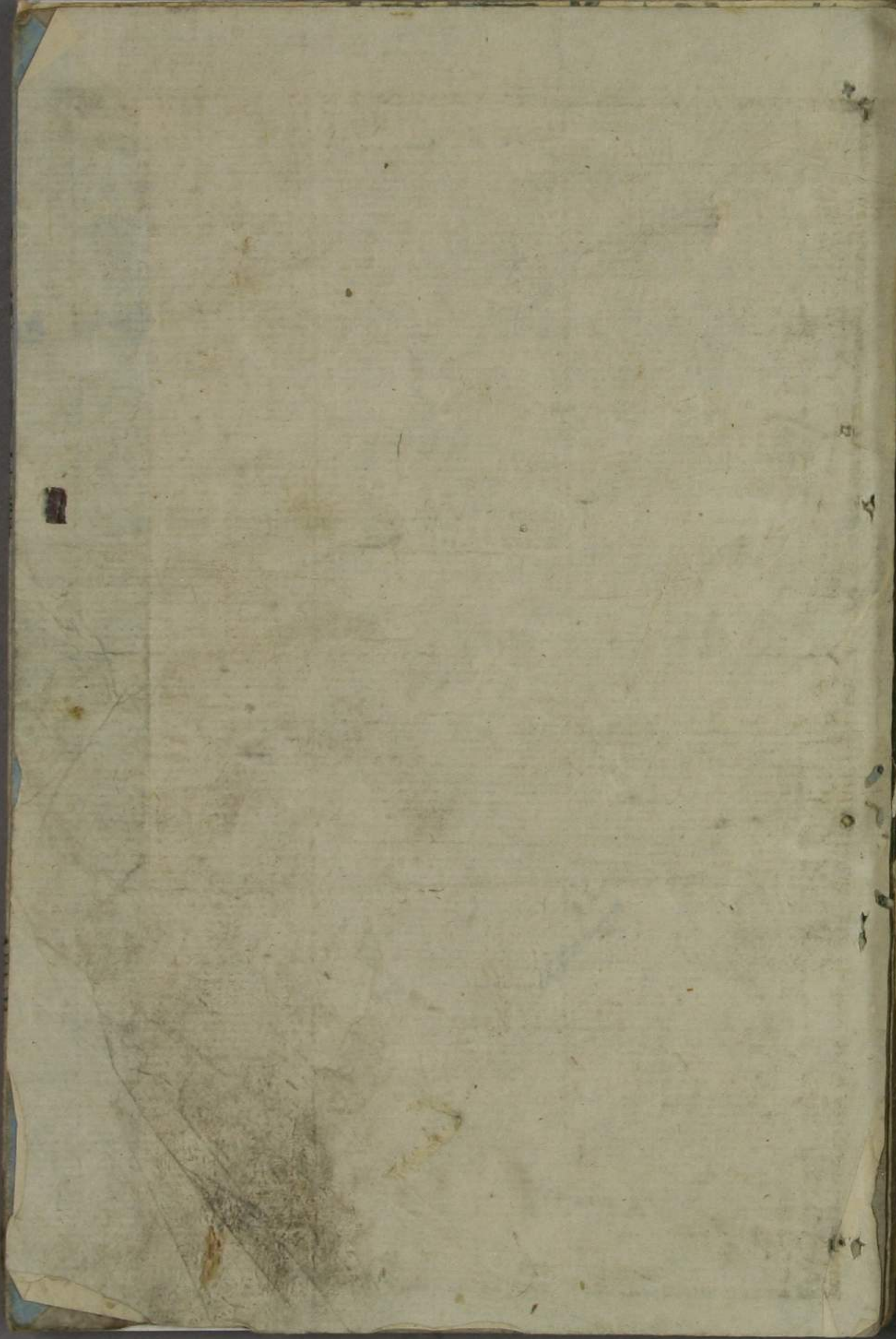
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

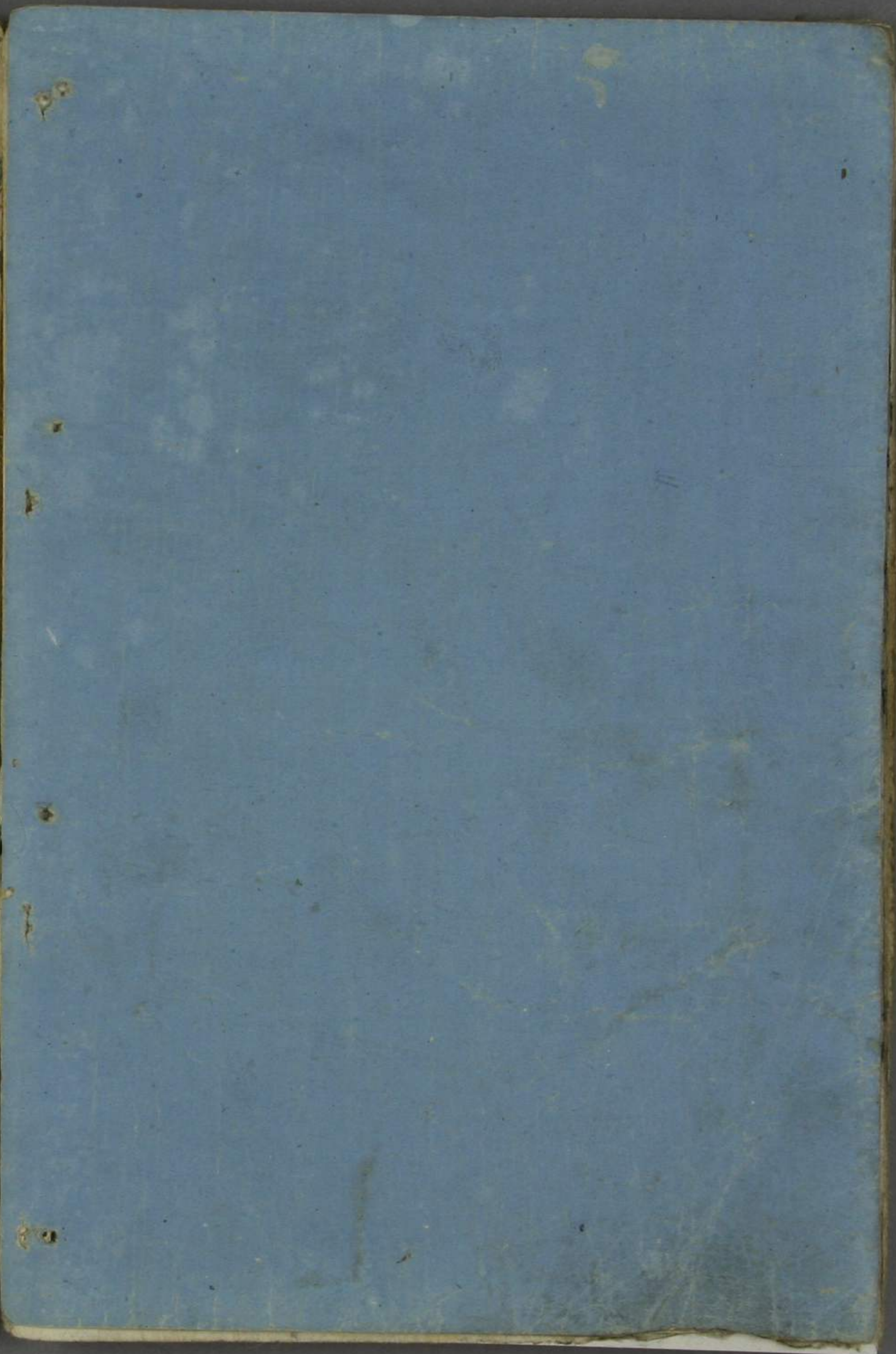












つゝさきまさめが
けとあまのふり
あつとくこのト
あむくくあて
なぐぬりぬり
つゞさきまさめ
さきまさめをさけて
あつとくあつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく

「あつとくあつとく
さきまさめ
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく



さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく

あつとくあつとく
あつとくあつとく
あつとくあつとく
あつとくあつとく
あつとくあつとく
あつとくあつとく
あつとくあつとく
あつとくあつとく
あつとくあつとく
あつとくあつとく

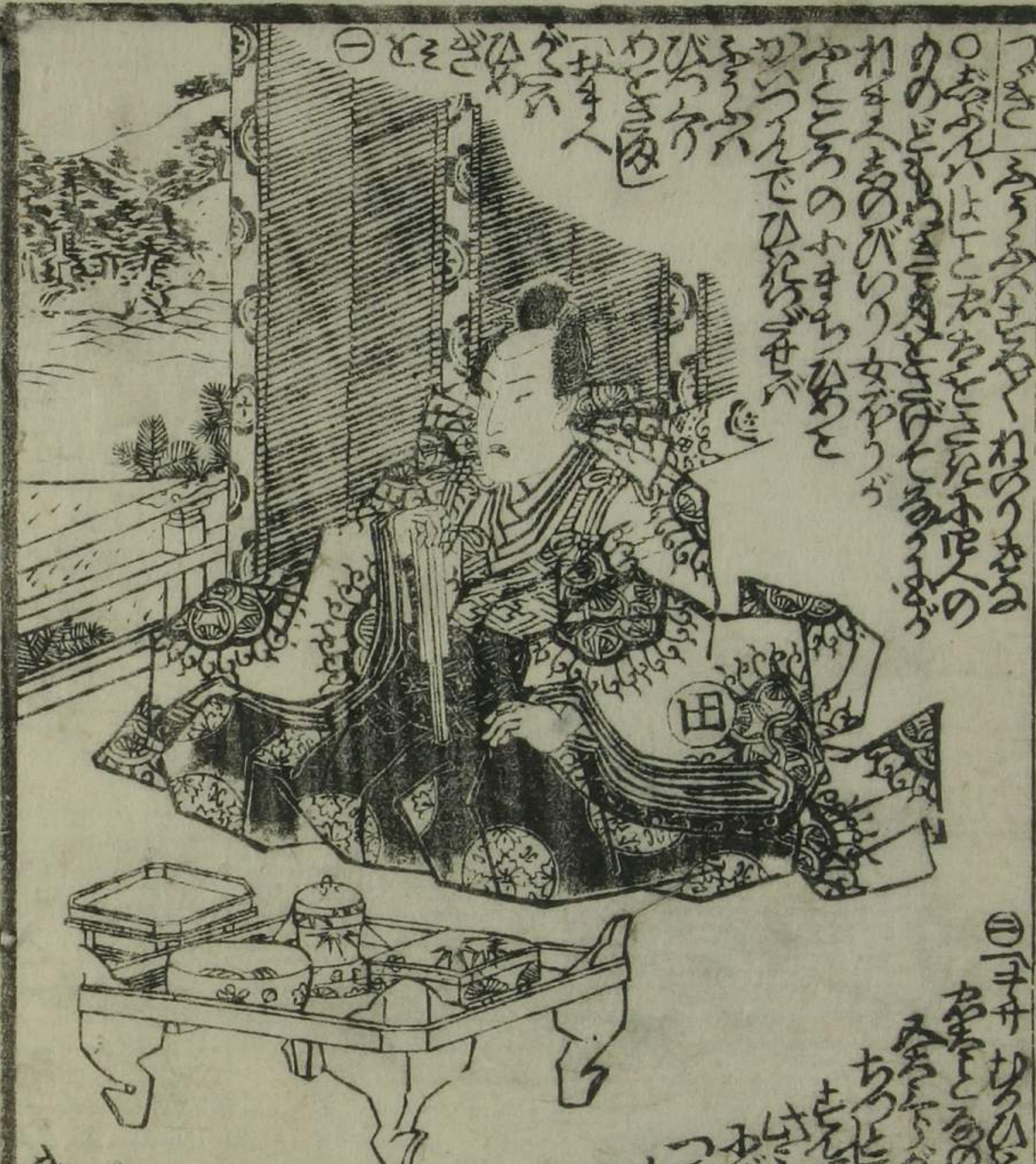
玉のり
小町ひめ



さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく
さい角あつとく



井ノ口... 源氏會... 田... 井ノ口... 源氏會... 田... 井ノ口... 源氏會... 田...



田... 井ノ口... 源氏會... 田... 井ノ口... 源氏會... 田... 井ノ口... 源氏會... 田...

○とさぎひ... 田... 井ノ口... 源氏會... 田... 井ノ口... 源氏會... 田...

○手... 田... 井ノ口... 源氏會... 田... 井ノ口... 源氏會... 田...





この世は
夢の如し
夢の如し
夢の如し

夢の如し
夢の如し
夢の如し

夢の如し
夢の如し
夢の如し

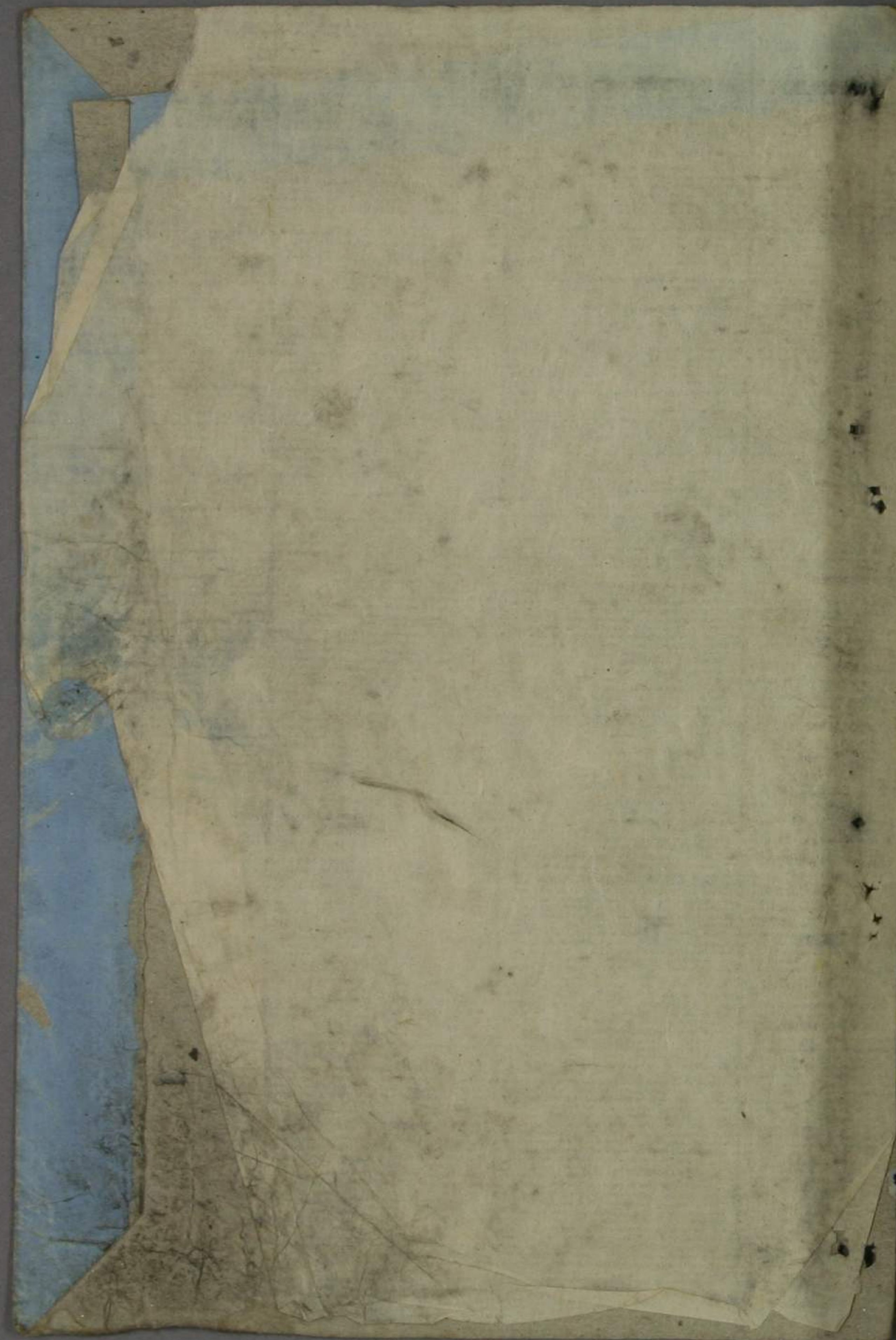
夢の如し
夢の如し
夢の如し
夢の如し
夢の如し
夢の如し
夢の如し
夢の如し
夢の如し
夢の如し



夢の如し

この世は
夢の如し
夢の如し
夢の如し
夢の如し
夢の如し
夢の如し
夢の如し
夢の如し
夢の如し

夢の如し

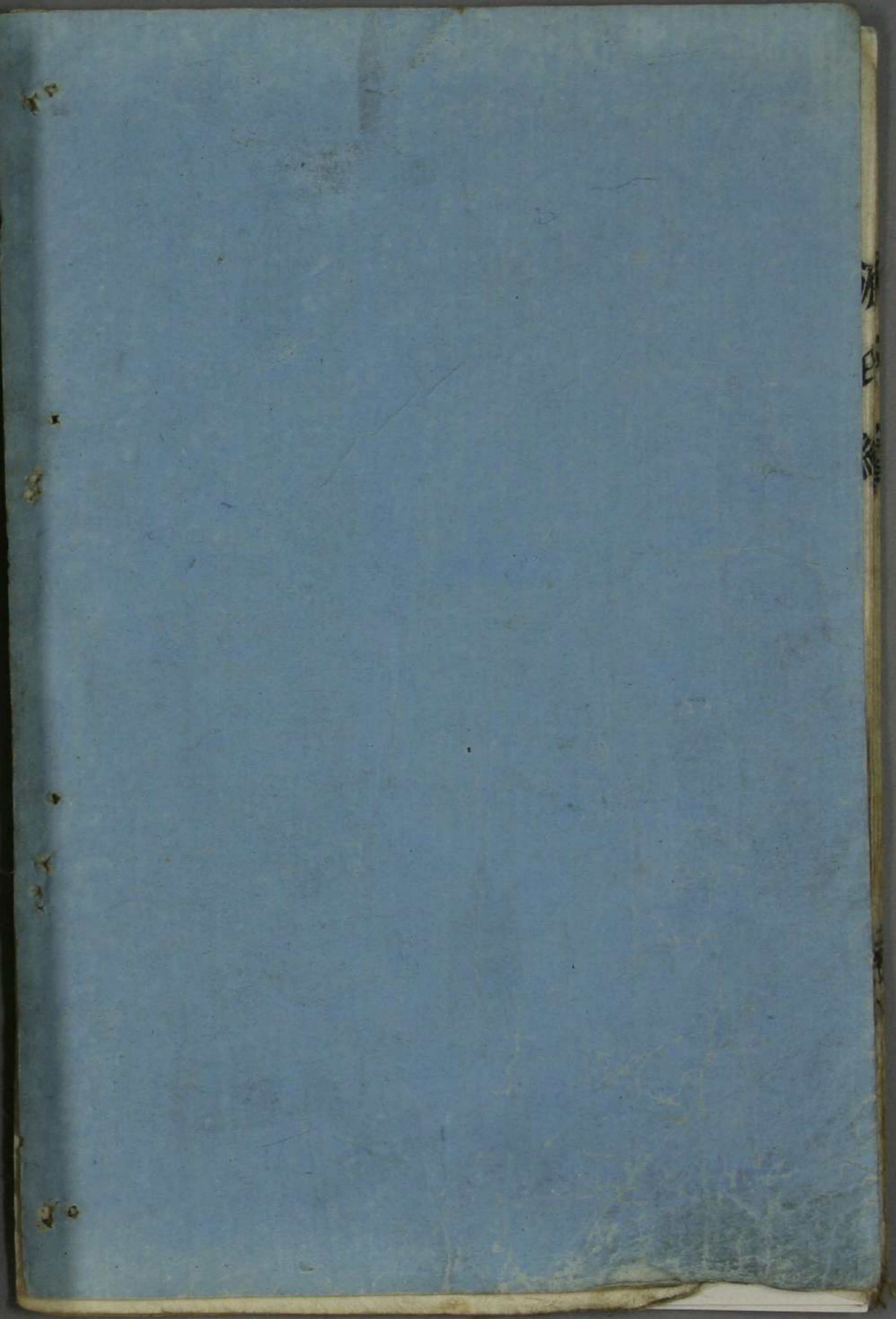


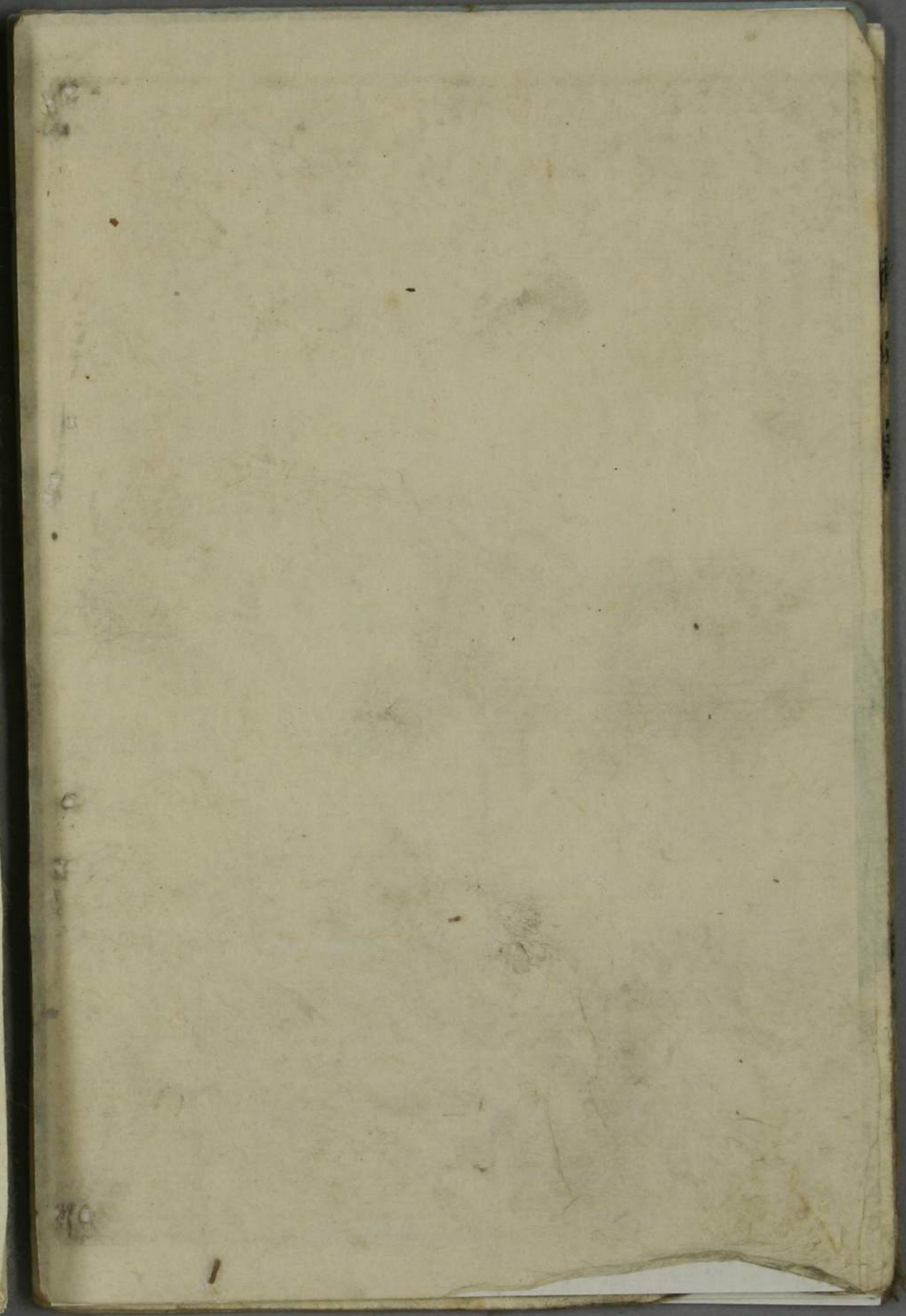
源氏物語
繪

國貞画

下

二卷
源氏物語





つぎ二つ三つのもを
三つ四つ五つ六つ
七つ八つ九つ十つ
十一つ十二つ十三つ
十四つ十五つ十六つ
十七つ十八つ十九つ
二十つ



そのまゝ田舎
おのれをい
八つとつた
おのれをい
おのれをい
おのれをい
おのれをい
おのれをい
おのれをい
おのれをい
おのれをい

五つ六つ七つ八つ
九つ十つ十一つ
十二つ十三つ十四つ
十五つ十六つ十七つ
十八つ十九つ二十つ
二十一つ二十二つ
二十三つ二十四つ
二十五つ



おのれをい
おのれをい
おのれをい
おのれをい
おのれをい
おのれをい
おのれをい
おのれをい
おのれをい
おのれをい



ついでに... 小町... 八雲... 姫... 小町... 八雲... 姫...

とて... 小町... 八雲... 姫...

田... 八雲... 姫... 小町... 八雲... 姫...



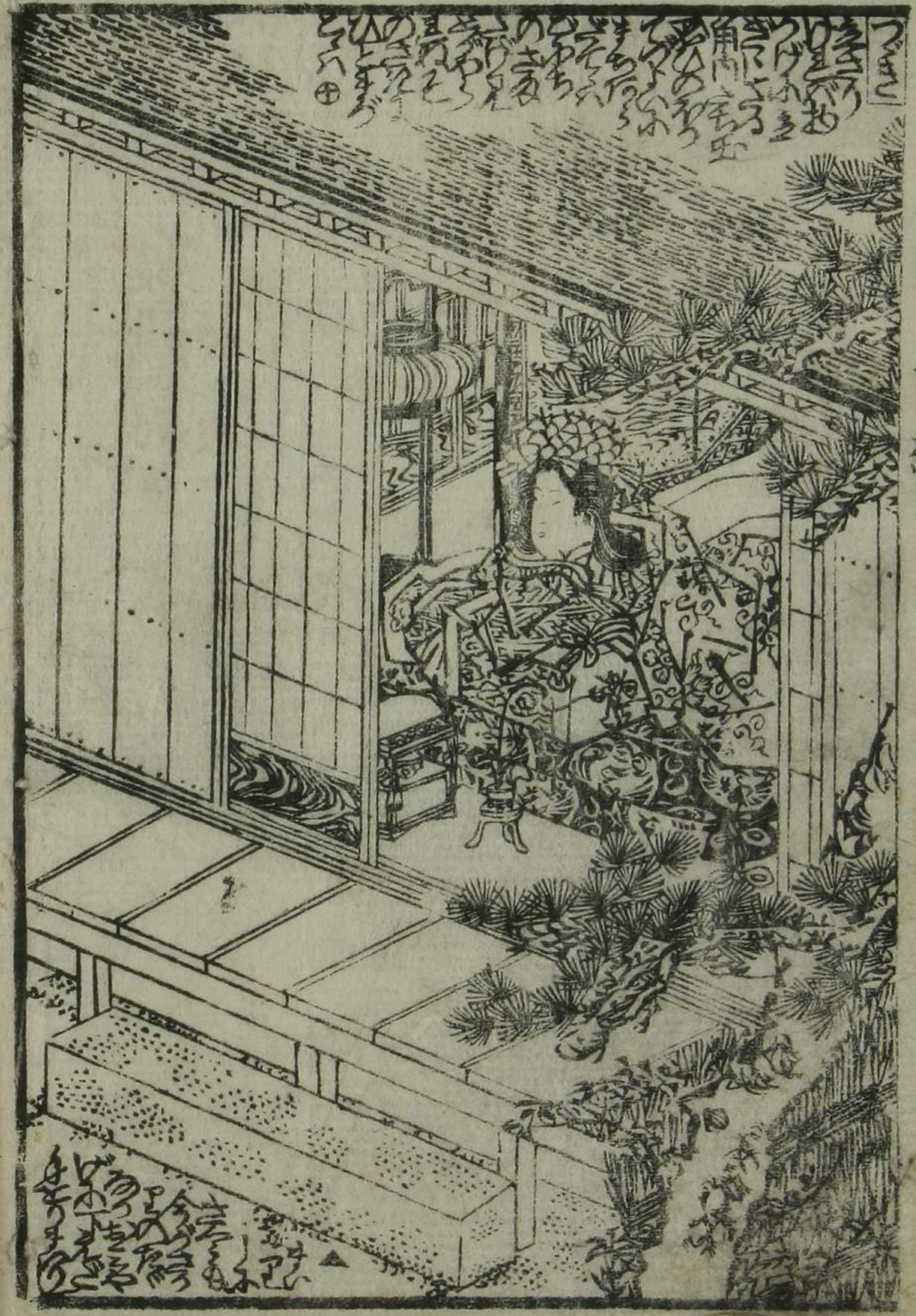
ついでに... 小町... 八雲... 姫... 小町... 八雲... 姫...

とて... 小町... 八雲... 姫...

田... 八雲... 姫... 小町... 八雲... 姫...











作者
 此の物語は、
 昔の物語に
 依りて作ら
 れしものな
 り。其の事
 蹟は、
 今も語り
 傳へられ
 たり。



此の物語は、
 昔の物語に
 依りて作ら
 れしものな
 り。其の事
 蹟は、
 今も語り
 傳へられ
 たり。

九

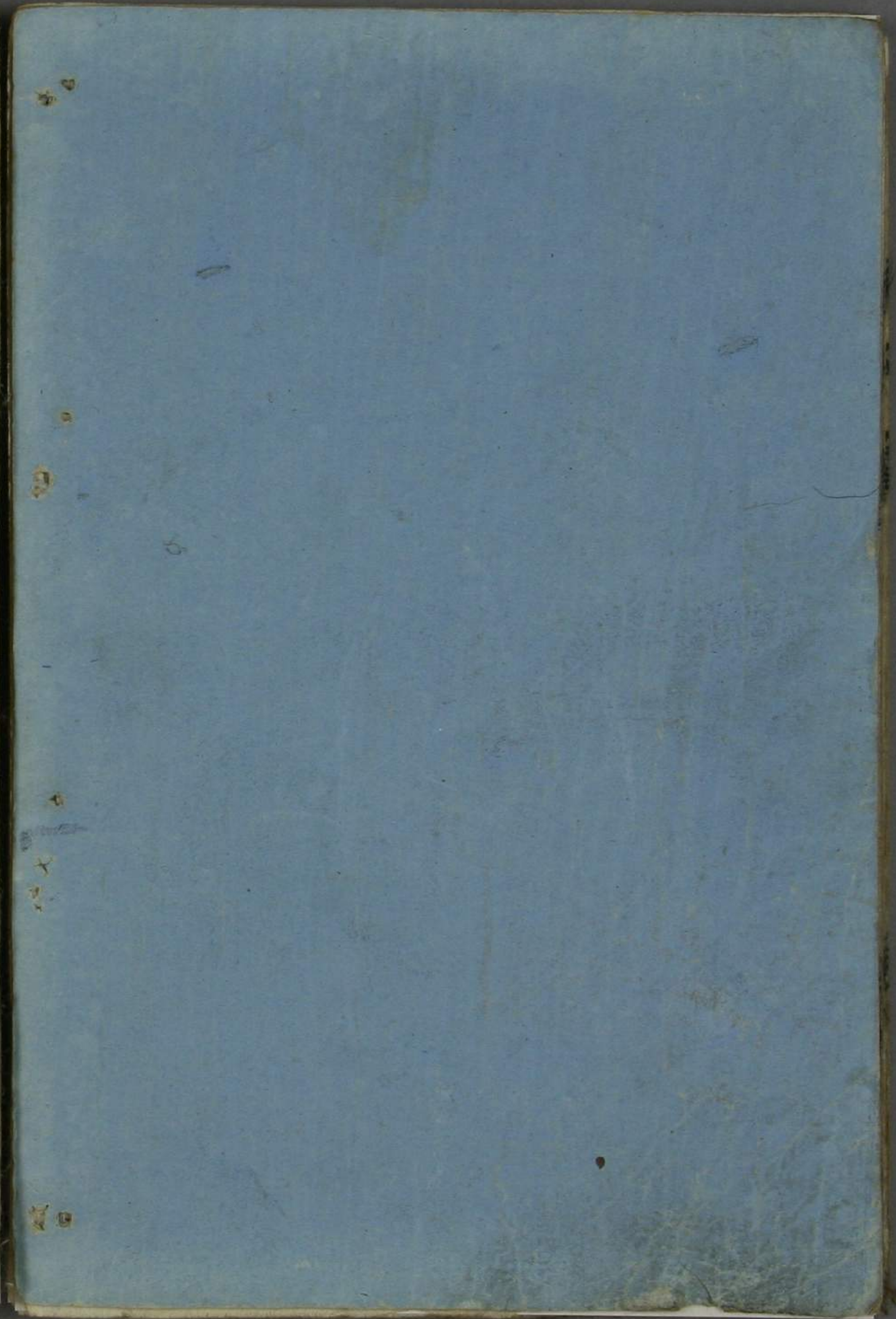
山

小
深
民
院



来
治

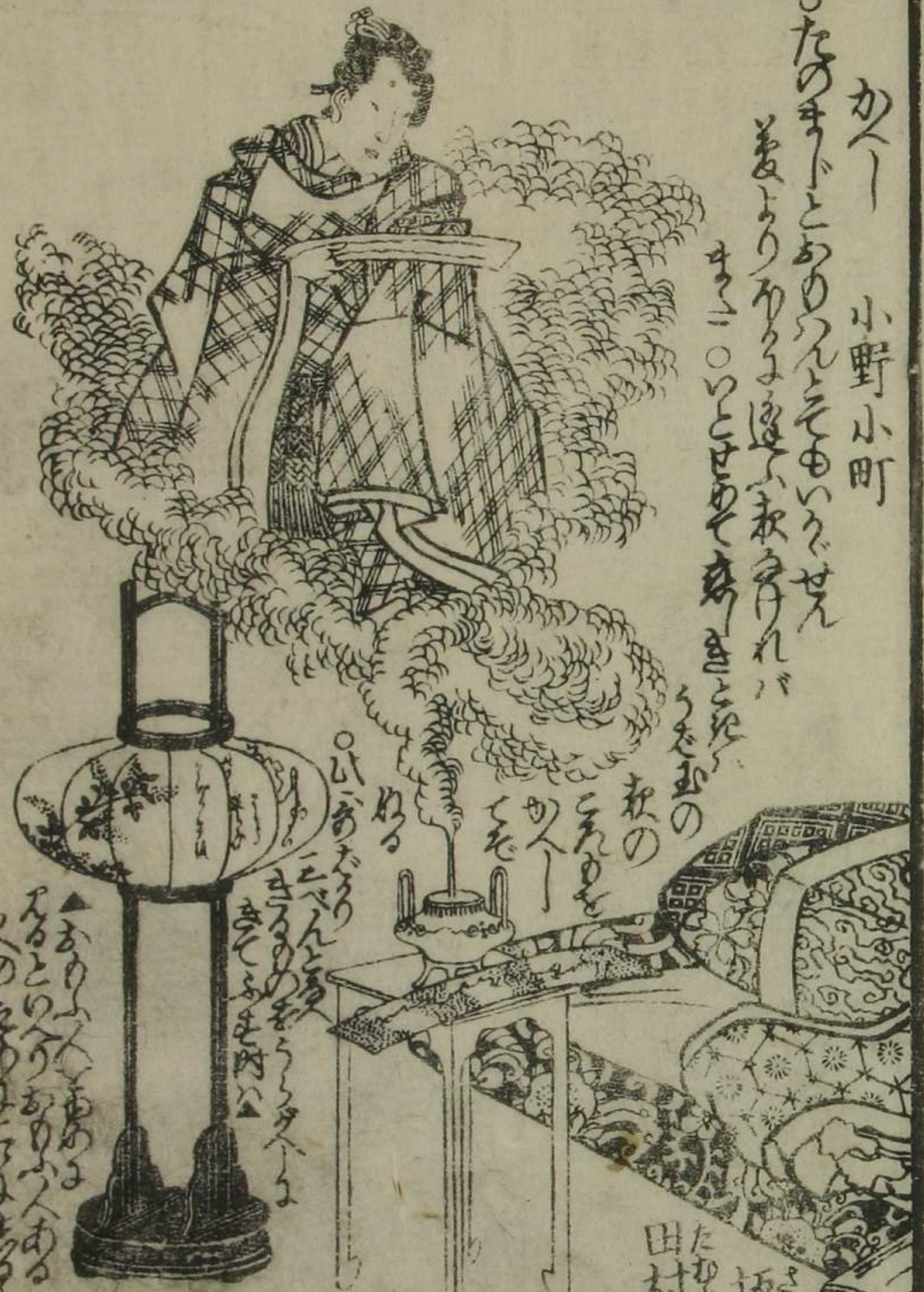
三



小野のこまら小町こまちがの残ま紀きしる書あきどもあまことあまどと兼けん好こうがいひ
 ごとくた本ほん傳でんいまだらならば出羽での生れるゆゝ拾しゅう芥がい抄せうえ
 えま數ず年ねん在ざい京きやうしていろとのままじりゆゝ袖そで中ちゆう抄せうの説るや小こ町まち
 ハ仁にん明めいの以を娘ぎらるまま歴するまあまの甲まて今いま由ゆ小こ町まちと應まの々々不
 びりとまあまとあままの女めの甲ままて今いま由ゆ小こ町まちと應まの々々不
 いろとのこせり小こ町まち擲たけの名なとのままの物語ものがたり去こ年ねん此こゝ形かたち作つく章しやう
 ひま行ゆきたれば小町まちが袖そでの三の舞ままと書肆しののこもあままままま
 八天保二年の弥生小町櫻の咲さひなりけり

山東庵京山題





かー 小野小町

○たのまうとあひのんよそ由いせえ

美よりりやうよはてあきけれバ

まじり○りとはあそあきと死

うたおの

秋の

こゝろを

かへし

を

ね

ひ

あ

た

ら

り

ま

ま

ま

ま

ま

町小造り玉女息の 田村 坂上

▲あひのんよそ由いせえ
美よりりやうよはてあきけれバ
まじり○りとはあそあきと死



小町 家集

君草

類従本

夢よ人の

小野小町

○あひのんよそ由いせえ

美よりりやうよはてあきけれバ

まじり○りとはあそあきと死

うたおの

秋の

こゝろを

かへし

を

ね

ひ

あ

た

ら

り

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

たのまうとあひのんよそ由いせえ

美よりりやうよはてあきけれバ

まじり○りとはあそあきと死

うたおの

秋の

こゝろを

かへし

を

ね

ひ

あ

た

ら

り

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま

ま





角内を以て
角内を以て

角内を以て
角内を以て

角内を以て
角内を以て



角内を以て

角内を以て
角内を以て

角内を以て
角内を以て



立の... 角... 懐妊丹... 白...

代... 懐妊丹... 白...



立の... 角... 懐妊丹... 白...

代... 懐妊丹... 白...



〇この人などよのよの
 う田村丸のあつらひ
 やつぱり其の方まじり
 けつちの川右あつらひ
 つつとあつらひあつらひ
 〇この人などよのよの
 う田村丸のあつらひ
 やつぱり其の方まじり
 けつちの川右あつらひ
 つつとあつらひあつらひ

〇この人などよのよの
 う田村丸のあつらひ
 やつぱり其の方まじり
 けつちの川右あつらひ
 つつとあつらひあつらひ



〇この人などよのよの
 う田村丸のあつらひ
 やつぱり其の方まじり
 けつちの川右あつらひ
 つつとあつらひあつらひ

〇この人などよのよの
 う田村丸のあつらひ
 やつぱり其の方まじり
 けつちの川右あつらひ
 つつとあつらひあつらひ



西へまはれば...
 大田の...
 小田の...
 田村...
 さま...
 せ...
 田村...
 さま...
 せ...
 田村...
 さま...
 せ...

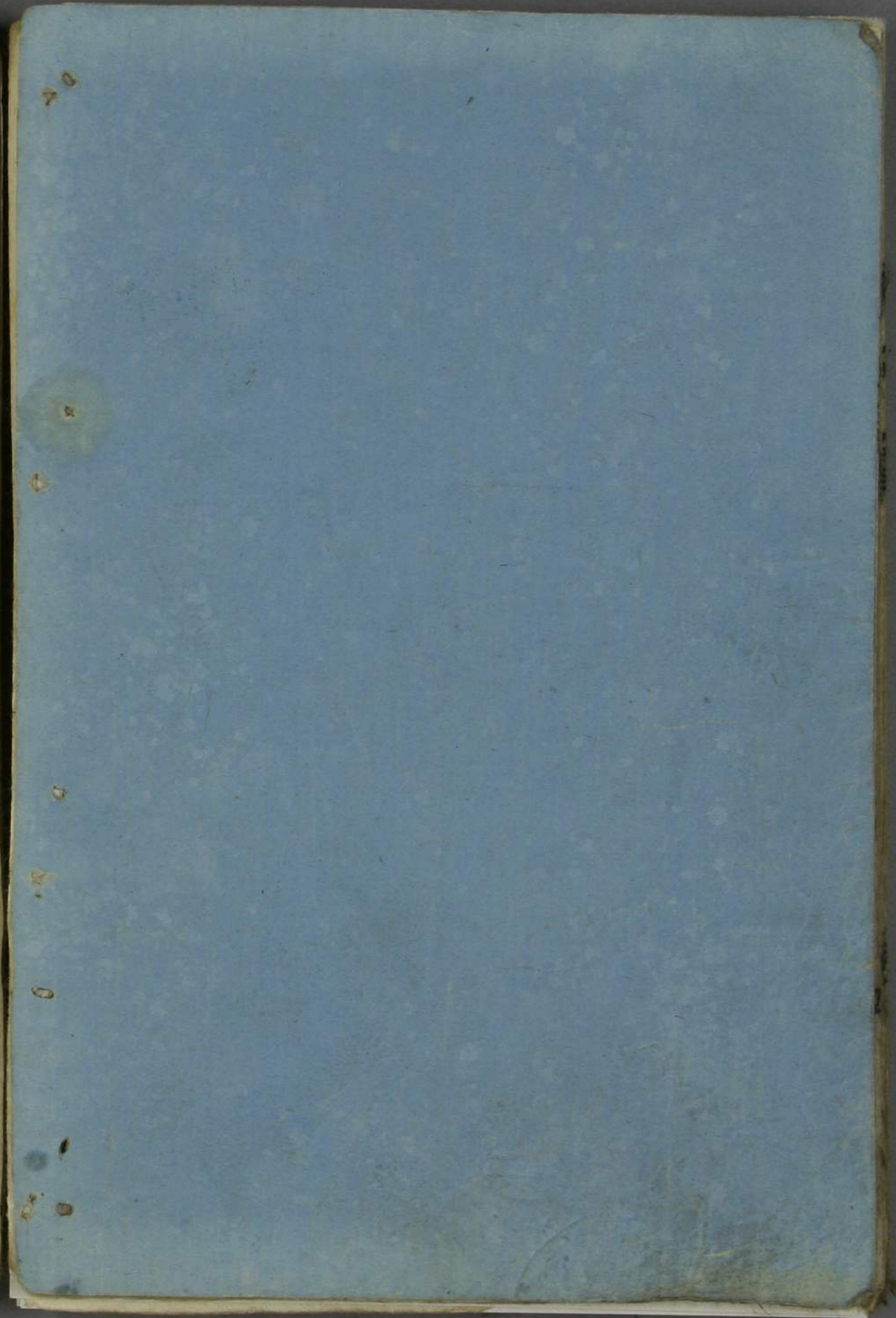
いよまの...
 入...
 の...
 海...
 小田...
 大田...
 田村...
 さま...
 せ...
 田村...
 さま...
 せ...



いよまの...
 大田...
 小田...
 田村...
 さま...
 せ...
 田村...
 さま...
 せ...
 田村...
 さま...
 せ...

いよまの...
 入...
 の...
 海...
 小田...
 大田...
 田村...
 さま...
 せ...
 田村...
 さま...
 せ...

劇 貞 女

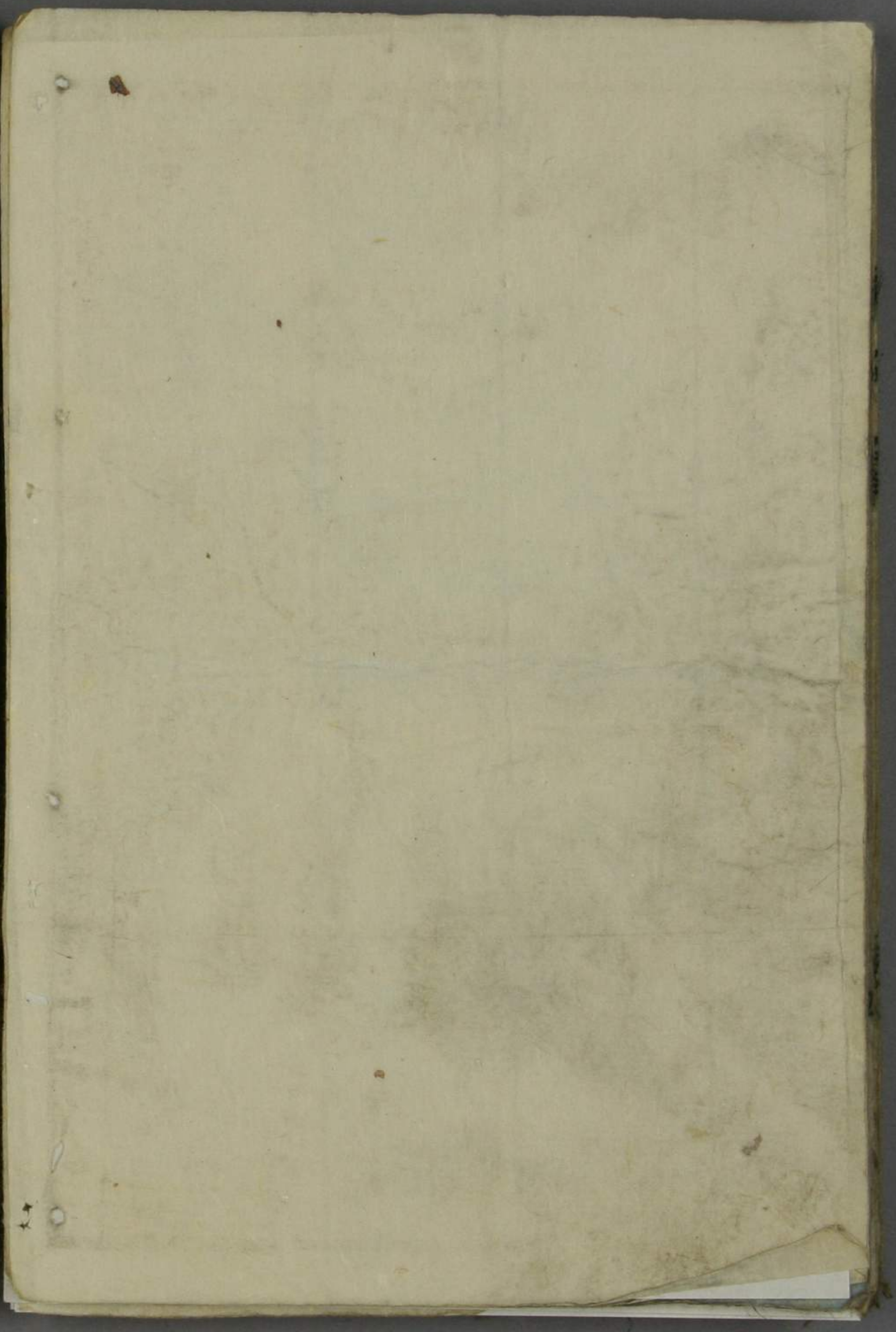


三



此の山は昔は
 大蛇の窟なり
 大蛇は此の山
 に入りて居り
 大蛇は此の山
 に入りて居り
 大蛇は此の山
 に入りて居り

大蛇は此の山
 に入りて居り
 大蛇は此の山
 に入りて居り
 大蛇は此の山
 に入りて居り





山... 木... 田... 田... 田...
 小... 小... 小...
 大... 大... 大...
 山... 木... 田... 田... 田...

山... 田... 田... 田...
 山... 田... 田... 田...



山... 田... 田... 田...
 山... 田... 田... 田...



小ののさあはちと公のたをれそはけの山は
 けの山はけの山はけの山はけの山は
 けの山はけの山はけの山はけの山は

④ 大なるくも天あはれ
 けの山はけの山はけの山は
 けの山はけの山はけの山は

⑥ 山はけの山は
 けの山はけの山はけの山は
 けの山はけの山はけの山は

けの山はけの山はけの山は
 けの山はけの山はけの山は
 けの山はけの山はけの山は



① 小ののさあはちと公のたをれそはけの山は
 けの山はけの山はけの山はけの山は
 けの山はけの山はけの山はけの山は

けの山はけの山はけの山は
 けの山はけの山はけの山は
 けの山はけの山はけの山は

小田三編

八日... 十... 十二... 十三... 十四... 十五日... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 廿一... 廿二... 廿三... 廿四... 廿五... 廿六... 廿七... 廿八... 廿九... 三十...



引... 目... 小... 大...

八日... 十... 十二... 十三... 十四... 十五日... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 廿一... 廿二... 廿三... 廿四... 廿五... 廿六... 廿七... 廿八... 廿九... 三十...



妙... 目... 小... 大...

